

1 管理運営業務の基本方針について

- (1) 重点項目
- (2) 数値目標

(1) 重点項目

「地域住民が、自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、及びスポーツ、レクリエーション、クラブ活動を通じて相互の交流を深める場としての地区センターを運営すること」。横浜市地区センター条例ではこのように設置目的が示されています。野毛地区センターはこの設置目的を達成するため、一般社団法人中区民活動支援協会及び他館と共に地域の中核施設であるという認識を持って、次のことを基本として管理運営してまいります。

- (ア) 誰もが利用しやすく、親しまれる地区センターであること。
- (イ) 利用者の安全・安心が確保された地区センターであること。
- (ウ) 利用者のニーズを把握し、応えていく満足度の高い地区センターであること。
- (エ) 子育て支援、高齢者支援、多文化共生、地球温暖化防止など区の重点施策を共有し支援すること。
- (オ) 施設の適確な維持・管理及び事業の効率、効果的な運営を行うこと。

(2) 数値目標

利用者数 5%増 3、200人増

稼働率 5%減 64.7%

自主事業等のタイムリーなホームページでのお知らせ、魅力ある地区センター便りの発行等広報の充実に努めるほか、会議室、和室、料理室等が多目的に利用できるような環境の整備をはじめ利用PRに努め、より多くの方々の利用促進を図ります。

参考

平成21年度実績

利用者数 64、179人

稼働率 68.1%

2 組織体制

- (1) 管理運営に必要な組織、人員体制
- (2) 個人情報保護等の体制と研修計画
- (3) 緊急時の体制と対応計画

(1) 管理運営に必要な組織、人員体制

職員の配置は、利用者の利便性、安全性の確保と館内の運営維持のために、管理責任者の館長1名、管理及び企画を行う主任2名と運営にあたるスタッフ8名（運営スタッフ6名、美化スタッフ2名）を配置します。さらにイベントやスタッフの急な不在に備えて「応援スタッフ」制度を利用し、人員増加の抑制と効率的な人員配置を行います。

館長	常勤	1名	運営管理の総括、職員の指導監督
主任	常勤	2名	自主事業の企画実施、庶務、経理、スタッフの指導、補助
スタッフ(運営担当)	時給	6名	・利用申込の受付・案内・対応、各種器具・備品の貸出と点検 ・館内外の整理・清掃、簡単な修理等の施設管理 ・館長・主任の事務補助
スタッフ(美化当)	時給	2名	清掃

館長と常勤職員は、日・祝日、早番・遅番等勤務区分毎に必ず1名以上配置し、スタッフを統率します。スタッフは3名ずつ（A、B、Cの3班で各1人）の2チームに分かれ、半月毎に交代勤務し、館の運営業務にあたります。各班は午前・午後・夜間の区分毎に1名を配置します。

採用については、採用委員会を設置し公正を期し適材を得ることとしています。当施設の特色に応じ、原則、公募により複数審査委員が選考します。

(2) 個人情報保護等の体制と研修計画

ア 個人情報保護等の体制

当協会は「個人情報保護法」「横浜市個人情報の保護に関する条例第4条」「個人情報取扱特記事項」に基づき、個人情報の取扱いに慎重に対処し、個人の権利を侵害しないことを徹底します。

当協会は定款で「個人情報保護に万全を期する」と定め、次の具体的措置を講じています。

- ・個人情報保護推進委員会を協会内部に創設するとともに「個人情報保護方針」を制定し、館内に掲示し、利用者に個人情報の厳正な取扱いの徹底を公表します。また、「個人情報保護規定」、「個人情報保護マニュアル」を作成し、職員に個人情報保護を徹底します。
- ・館長を個人情報保護責任者とし、個人情報の保護及び厳正な取扱いを徹底します。
- ・年に一度、職員やスタッフに対し研修を実施し、業務上必要な情報管理として申込書、掲示物や広報誌等の肖像や氏名、肩書等にも配慮した個人情報取扱特記事項の遵守、利用・取得に関するルールや適正・安全な管理、第三者提供に関するルール、開示や利用停止請求ルール、罰則等について確認します。
- ・職員全員が、個別に個人情報保護に関する誓約書を毎年提出します。
- ・横浜市が規定する個人情報特記事項についても毎年点検・評価を行います。また自主チェックリストにより、個人情報保護の実施状況を毎年点検します。

個人情報の保護に関して疑念及び問題が生じたときには区に相談し、その指示に従って対応し、緊急に

事実関係を調査し、区に報告し、適切な改善を進めます。

イ 研修計画

地区センター設立趣旨や「地区センターは利用者のものである」という館長憲章を理解し、常に利用者の立場に立って業務に当れるよう、「年間研修計画」を作成し、実行します。全員が集合して行う全体研修は年2回実施し、館長以下全員必修とします。また必要があれば、積極的に外部への見学・研修参加を行います。研修は事例を中心としたロールプレイング等の実践的なものに重点を置きます。

① 接遇研修…接遇は、利用者の好感度や満足度の向上に直接繋がります。

子ども、高齢者や障がい者など相手に合わせた対応が出来るよう、事例を元に実践的な研修を行います。

② 業務研修…年2回の集合研修以外に、日常業務を通じた教育と毎日のミーティングで実施します。「苦情の処理」などその日の事例を報告するとともに、対応方法について意見を交換します。

③ 個人情報保護の取扱いについての研修…個人情報の取扱い並びに横浜市個人情報の保護に関する条例に基づく刑罰の内容及び民事上の責任等にかかわる研修を実施します。

④ 救急救命研修…救命講習修了者常駐施設の認定施設として、全職員が年に1回以上 AED の操作を含む救急救命研修を受講します。

⑤ 人権研修…当協会主催の人権研修を受講します。

(3) 緊急時の体制と対応計画

当施設は、中心市街地にある商業ビルの3階に立地しており、防犯・防災においてもビルの他のテナントと緊密な連携体制を敷いております。合わせて近隣住民や地域自治会とも連携対応も進めます。当施設は特定避難場所として位置付けがなされているので、緊急時避難対応マニュアルを作成し、市や区、協会、地域自治会との連絡体制を構築します。

ア 防犯、防災の対応について

① 防災の対応策

- ・「防火管理規定」、「地震等緊急時対応マニュアル」を定め、災害時の対応を規定するとともに関係する地域や関連諸機関の連絡先を明らかにしています。
- ・ビルの総括防火管理者の下、地区センターの防火管理者を定め、ちえるる野毛ビルと連携して防災管理を行います。
- ・野毛地区センター消防計画をもとに、自衛消防隊（防災も兼ねる）を組織し、災害に対処します。そのために、防災訓練や定期的な消防訓練を年2回実施します。このほか、ビル全体で行われる消防訓練にも参加し、利用者の安全度を高めます。
- ・台風や地震等の自然災害が発生し、危険が予測される場合は、区役所と相談の上、館長の判断で閉館等の対応をします。
- ・日頃から地元自治会との連携を密にして、緊急時の連絡体制を整えるとともに、防災訓練への参加を呼びかけ、災害時に円滑な対応ができるようにします。
- ・緊急時には、当施設を近隣住民の避難場所として開放し、有効に活用します。

② 防犯の対応策

- ・館長と主任が随時巡回するほか、ビルの警備員が1日7回程巡回します。
- ・受付には「非常サイレン」を設置し、犯罪抑止と非常時の警報を兼ねます。
- ・盗難等があった場合は、至急警察へ届けるとともに区役所へ連絡し、指示を受けます。

イ その他、緊急時の対応について

緊急時に適切に対応するためには、十分な準備をしておくことが大切です。緊急時の対応は「緊急時に備えた準備」と「緊急時の対応」の2つに分けて考えます。

① 緊急時に備えた準備

- ・協会本部と連携して「野毛地区センター地震等緊急時対応マニュアル」を定め、準備をします。
- ・開館時及び閉館時の緊急時連絡体制表を作成し、職員やスタッフが予測しうるさまざまな緊急時体制について日頃からミーティングを行い、理解し実行できるようにします。
- ・非常時に対処するため、予備の鍵を区・協会、警備室に保管します。

② 緊急時に備え、年に1度事故防止および対応の研修を実施します。

- ・利用者に障害や病気等が起きた場合は、「野毛地区センター地震等緊急時対応マニュアル」に基づき職員が応急処置を行います。特に意識や呼吸のない場合はAEDを使い直ちに救命救急措置をとります。そして救急車を待ち、病院へ同行します。応急措置後には、区役所や協会へ連絡します。

野毛地区センター事業計画書

3 施設の運営計画

- (1) 地域との連携に関する計画について
- (2) 広報及び利用促進策について
- (3) 利用料金の設定について（※地区センターのみ該当）
- (4) 利用者ニーズの把握と運営への反映方法
- (5) ニーズ対応費の使途について（※地区センターのみ該当）
- (6) 個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- (7) その他利用者サービス向上の取組について

(1) 地域との連携に関する計画について

ア 市の中心市街地に位置する地区センターである野毛地区センターの役割は、町内会、野毛街づくり会など地域の振興や活動の場として、また、野毛大道芸や野毛山節等地元の伝統文化・芸能の活動の場、あるいは、相互交流の場として、再発展の過渡期にある野毛地区の中心的な施設であるとの認識の基に地域ニーズに応え、運営をしていきます。

イ 野毛地区センターは中区と連携した高齢者向けの事業、子育て支援事業や地域に密着した講師等による各種自主事業、あるいは生涯学習・スポーツなど様々な団体のサークル活動であらゆる階層の地域住民にとって、なくてはならない身近な存在となっています。

ロビーは、保護者と一緒におもちゃで遊ぶ幼児から、ゲームをしたり本を読む小中学生、勉強に来る大学・高校生、女性の団欒や、囲碁・将棋を楽しむ人たち等、世代を超えて幅広い人達の交流の場となっています。

ウ 野毛地区センターは近年、団体利用が増加して会議室等を予約できずにいる方が増えてきています。近隣の賑わい座、青少年センター等の公共的施設と連携し、会議室等の空き情報を利用者に提供、自主事業を共催するなど、施設相互で協力します

(2) 広報及び利用促進策について

設置理念の「住民の自主的活動や相互交流を促進する場」として、できるだけ多くのお客様に当施設を利用していただくため、引き続きこの方針を進め、特に次の2点で利用の促進を図ります。

ア 広報の充実と利用の促進

- ①タイムリーにホームページを更新し、自主事業やイベントなどのホットな情報を紹介することで、当施設の魅力を多くの人に伝えるとともに利用者の便宜を図ります。
- ②地区センター便りを定期的に発行し、地域の自治会や公共施設等に広く配布することで、地区センターの魅力を地域住民に周知します。
- ③広報区版やタウン情報誌を積極的に活用し、イベントや自主事業などの情報を区全体に伝えます。

イ 部屋の使い方の工夫（多目的利用の推進）

会議室等の利用を「会議」に限定せず、割引と併せてダンス、楽器演奏等の多目的利用を推進します。常にニーズに応えていくことで、利用者の便宜を図り、利用の促進につなげます。

(3) 利用料金の設定について

利用料金の設定の単価は、平成17年6月に市民局区連絡調整課で示された基準単価4.6円/m²/

時間 (料理室 5.3 円/㎡/時間) を上限とし設定します。(1 円単位四捨五入)

多くの人に利用していただき、「地域住民が自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、相互交流を深めて地域コミュニティの形成に寄与する」と言う施設の設置目的を実現するためには、平等性・公平性を確保しながら、利用者の利用しやすいように、次のような料金の割引などを行います。

- ① 公的利用、福祉や青少年の健全育成目的利用には、区と協議の上減免・優先措置を行います。
- ② 各部屋は目的に応じた方法で使用することを原則としますが、ご希望の部屋が埋まっている場合、他の部屋を案内します。多目的利用の場合、料金設定の高い料理室は割引料金を検討します。
- ③ 利用率の低い午後②の時間帯については、他の時間帯と比較して 2 割引の料金とします。
- ④ 当日申し込みの場合は、通常の申込の場合の半額の料金とします。
- ⑤ 利用当日、部屋が空いている場合は 1 時間単位で利用を延長できることとします。

野毛地区センター利用料金表

室名	算定面積 ㎡	単価 円/ ㎡・時間	利用料金(円)							
			1時間 当たり	午前・午後①・夜間		午後②				
				通常申込	当日申込	平日・土曜		日・祝		
				通常申込	当日申込	通常申込	当日申込	通常申込	当日申込	
一般利用施設	会議室	48.1	4.6	220	660	330	520	260	340	170
	集会室	159.8	4.6	740	2,220	1,110	1,770	880	1,180	590
	工芸室	51.2	4.6	240	720	360	570	280	380	189
	料理室 ※1	50.0	5.3	270	540	270	540	270	540	270
用分施設割	和室(全体)	82.8	4.6	380	1,140	570	910	450	600	300
	和室(1/2)	41.4	4.6	190	570	280	450	220	300	150

※1 1 コマは 3 時間、料理室のみ 1 コマ 2 時間とします。

(4) 利用者ニーズの把握と運営への反映方法

当地区センターでは幼児から高齢者、女性と男性や外国人と様々な利用者が来館します。、それぞれのニーズは異なりますが出来る限り、その様々なニーズに応えていくことが使命であると考えます。次のような方法で、利用者のニーズを把握します。

- (ア) 利用者会議を毎年 2 回開催し、利用者から直接意見を求めます
- (イ) 毎年 1 回以上の館全体のアンケートと自主事業毎の個別アンケートを実施し、ニーズを把握します。
- (ウ) 来館者への聞き取り、ご意見箱とまちや学校という地域の声により、普段からニーズ収集に努めます。

このように収集した利用者ニーズを検証・精査し、地域連絡会に諮り、優先順位を付けて日常業務や管理運営に反映させると共に、マニュアル改訂や次年度計画に反映させます。

(5) ニーズ対応費の使途について

利用者ニーズへの対応は基本的に予算に盛り込み、利用料収入の 1/3 をニーズ対応費に充てます。

主な用途としては「センターまつり」などの大規模な事業、修繕の必要な設備、利用者のニーズのある備品、人気のある自主事業で追加の実施の要望があった場合などに対応していきます。

(6) 個人や団体に対する相談、調整助言などについて

- ア 地域の活動に参加したい、あるいは趣味を広げて生活環境を向上させたい等の相談などには、当センターの自主事業や中区内の他の施設で活動している団体の紹介も行なっております。
- イ 部屋の貸出しを通じて、サークル活動のきっかけ作りを図るため、個人情報の保護に配慮しながら、当センターのホームページの「お仲間募集」などで広く活動サークルを紹介するための工夫をします。併せてサークル活動が自主的に出来るよう積極的にサポートしてまいります。

(7) その他利用者サービスの向上について

- ア お客様の接遇がサービスの基本になります。常に思いやりと感謝の気持ちをもってお客様が気持ちよくご利用できますよう努めます。
- イ 常に利用者ニーズの把握に努め事業に反映します。
- ウ 毎日の点検、清掃などを通し安全、清潔な地区センターを目指します。
- エ お部屋、備品などの利用環境の整備に努め満足度の向上に取り組みます。

野毛地区センター事業計画書

4 施設の維持管理計画

当施設を安心して、気持ちよくご利用いただくために、中区との協定書を遵守し、法定点検を基本とする施設維持管理計画を実施します。この法定点検等につきましては、専門の管理事業者と委託契約を締結し、実施します。なお建物・設備の管理は一部を除き「ちえるる野毛管理組合」が実施します。

ア 建物・設備等の保守管理

建物・設備等については、日頃から職員が館内の点検や日常清掃の際に併せて点検を行い、不具合のある箇所を業務日報・業務日誌で報告し、修理は、軽微なものは職員の手で行い、経費の節減に努めます。大規模な修繕を伴う場合には、中区役所と協議し修繕の対応を図ります。

イ 清掃・植栽管理

清掃・窓ガラス清掃は専門業者に委託して年6回実施します。日常清掃は、「日常清掃チェックリスト」に従って美化担当スタッフが、毎日午前中に実施します。このほかトイレなど汚れやすいところについては、他の職員も含め、随時清掃します。

室内の植物は職員が毎日の手入れ、水遣りを実施します。ベランダの手入れは職員、花のボランティアが行ないます。

野毛地区センター 建物設備管理計画表

項目	業務	実施担当	頻度
日常 管理	建物設備維持管理	職員	毎日
	機械警備点検	職員	常時
	清掃業務	職員	毎日
	小破修繕	職員	随時
衛生 管理	設備総合巡視点検	外部委託	1回/月
	電気設備巡視・定期点検（高圧受電以上）	外部委託	1回/月
	非常用発電機点検	外部委託	2回/年
	中央監視装置点検	外部委託	1回/年
	空調自動制御点検	外部委託	2回/年
	空調設備巡視・定期点検	外部委託	1回/月、2回/年
	熱源機器等点検	外部委託	2回/年
	建築設備	外部委託	1回/年
	空気環境測定	外部委託	1回/2月
	害虫駆除	外部委託	2回/年
	汚水槽・雑排水清掃	外部委託	2回/年
	ウォータークーラー	外部委託	1回/年
	レジオネラ菌分析	外部委託	1回/年
	グリストラップ等の清掃	外部委託	4回/年
建物 等	建築設備	外部委託	1回/年
	消防用設備点検	外部委託	2回/年
	防火対象物定期点検	外部委託	1回/年
	放送設備点検	外部委託	1回/年
	ガス監視装置点検	外部委託	1回/年
	昇降機点検 月次及び建築基準法	外部委託	1回/月、年1回
	自動ドア点検	外部委託	4回/年
	非常通報装置点検	外部委託	2回/年
	建築物建物点検	外部委託	1回/3年
雨水槽清掃	外部委託	1回/3年	
清掃 等	清掃業務	外部委託	1回/月
	植栽剪定・草刈	外部委託	2回/年

野毛地区センター自主事業計画書

団体名 一般社団法人 中区民活動支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数(延べ)	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
スローエアロビクス&ヨガ 全10回	高齢者	70,000	50,000	20,000	50,000	20,000	
	200人						
	100円						
野毛の店主に習う 和菓子 年4回	一般	52,000	20,000	32,000	20,000	32,000	
	64人						
	500円						
音楽と落語の宅配便 年6回	一般	150,000	0	150,000	0	150,000	
	300人						
	500円						
文学講座 戦国時代を遊ぶ 全4回	一般	39,000	24,000	15,000	24,000	15,000	
	60人						
	250円						
おはなしの会 年2回	乳幼児と保護者	12,000	6,000	6,000	6,000	6,000	
	40人・20組						
	300円(一組)						
ファミリーコンサート 春・冬 (乳幼児向け)年2回	乳幼児と保護者	29,000	11,000	18,000	11,000	18,000	
	60人・30組						
	300円(一組)						
ふれあい給食 年8回	一人暮らし高齢者	0	0	0	0	0	
	208人						
	0円						
パン作り 初級 年4回	一般	44,000	24,000	20,000	24,000	20,000	
	40人						
	500円						
パソコンアドバイザーに聞く 年2回	一般	18,000	12,000	6,000	12,000	6,000	
	20人						
	300円						
団塊の世代を応援 エクセル 活用講座 全3回	一般	34,200	15,000	19,200	15,000	19,200	
	24人						
	800円						
年賀状をパソコンで手早くき れいに作る 全3回	一般	34,200	15,000	19,200	15,000	19,200	
	24人						
	800円						
小学生のボイストレーニング 全4回	小学生	29,000	20,000	9,000	20,000	9,000	
	60人						
	150円						
触れてみよう聞いてみよう 弾いてみよう! 年2回	小学生	17,500	10,000	7,500	10,000	7,500	
	30人						
	250円						
リトミックを始めよう 全12回	幼児と保護者	72,000	60,000	12,000	60,000	12,000	
	240人・120組						
	100円						

小学生親子工作教室 年2回	小学生親子						
	60人・30組						
	500円	31,000	16,000	15,000	16,000	15,000	
小学生アート教室 全4回	小学生						
	60人						
	100円	26,000	20,000	6,000	20,000	6,000	
団塊の世代を応援 男の料理教室 年3回	高齢者男性						
	45人						
	1000円	69,000	24,000	45,000	24,000	45,000	
医学講座 年3回	一般						
	60人						
	300円	48,000	30,000	18,000	30,000	18,000	
園芸に親しむ 年4回	一般						
	80人						
	500円	60,000	20,000	40,000	20,000	40,000	
初めてのボクササイズ 全12回	一般						
	240人						
	100円	84,000	60,000	24,000	60,000	24,000	
高齢者用食事の作り方 年4回	一般						
	60人						
	500円	50,000	20,000	30,000	20,000	30,000	
自転車、自動車の法規	一般						
	20人						
	0円	3,000	3,000	0	3,000	0	
ヨコハマ遊学校 年9回	一般						
	540人						
	500円	270,000	0	270,000	0	270,000	
井戸端コンサート	一般						
	80人						
	500円	60,000	20,000	40,000	20,000	40,000	
落語を習おう 全4回	小学生						
	60人						
	200円	32,000	20,000	12,000	20,000	12,000	
合 計		1,333,900	500,000	833,900	500,000	833,900	0

野毛地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 一般社団法人 中区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
スローエアロビクス&ヨガ	<p>目的 団塊の世代を含む高齢者の体調管理と仲間作りのために、やさしいリズムにのったエアロビクスとストレッチ効果のあるヨガの講座を開催します。</p> <p>内容 運動をあまりしてこなかった方でも気軽に参加でき、回数を重ねることにより徐々に体力を付けていける内容となっています。</p>	9月から2月 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野毛の店主に習う和菓子	<p>目的 数年間継続している野毛の店主に習う講座です。手づくりで、安心な食品を作ること、和菓子を通して季節を味わうこととともに、野毛の地域を知り、親しんでもらうことも目的の一つです。</p> <p>内容 季節の和菓子を毎回2種類、実際に参加者が作ります。職人の技も直接ご覧いただけます。</p>	春夏秋冬 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音楽と落語の宅配	<p>目的 家にこもりがちな高齢者が、日本の伝統芸能である落語を聞き、仲間と共に歌をうたうことで楽しい時間を過ごすことを目的とした講座です。</p> <p>内容 ボランティアのグループが会場設営や司会を自主的に行い手づくり感のある事業となっています。年間6回開催しますが、数年間継続している人気講座です。</p>	4月・6月・8月・ 10月・12月・ 2月 年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
文学講座 戦国時代を遊ぶ	<p>目的 大学の講師の先生に、本格的だけれど、初心者にも抵抗無く学べる、文学の入門編を教わる講座です。団塊の世代で「歴史好き」の方々がこの講座をとおして地区センターに集うことも目的の一つです。</p> <p>内容 今年は、戦国時代の武士の生き様を学ぶ内容で、テキストを選びます。資料を読み込み、時代の背景や人物にも焦点をあてて、歴史の流れを理解します。</p>	2月 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おはなしの会	<p>目的 子育て世代を応援する講座です。親子のふれあいの時間をより楽しむため読み聞かせや手遊びのコツを学びます。ボランティア活動をしているグループを支援する目的もあります。</p> <p>内容 乳幼児と保護者を対象として、年2回、絵本を読み、手遊びをする会を開催します。</p>	10月、3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ファミリーコンサート（乳幼児向け）	<p>目的 子育て世代を応援する講座です。乳幼児をもつ親どおしの交流の場、親子のふれあいの時間を楽しむ場として開催します。</p> <p>内容 乳幼児と保護者を対象として、年2回、心を暖かくする童謡やクラシックの歌を聴く会です。</p>	6月、12月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい給食	<p>目的 地域の社会福祉協議会との共催事業です。一人暮らしの高齢者に年8回の給食会を催し、高齢者が地区センターへ出かけるきっかけを作ります。その際、近隣の小学生とのふれあいの時間を持つことにより、お年寄りや子どもたちにとっても貴重な時間を過ごせます。また、近隣交番の協力による、犯罪抑止のための情報なども、給食会で提供されます。</p> <p>内容 社会福祉協議会のボランティアの方々による手づくりの和食の給食をいただく会です。季節を感じさせる心のこもったお料理と小学生のあどけなさに触れ、参加したお年よりは元気づけられています。</p>	4月から3月 年8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パン作り初級	<p>目的 食の安全性に関心が持たれている昨今、安心できる材料を使ったパンの作り方を学ぶ講座です。</p> <p>内容 企業の一般への人材派遣制度を活用して、講師料を低価格に押さえ、機材を長期間借りて開講しています。年4回、季節に合わせたメニューでパン作りを楽しみます。</p>	5, 7, 9, 11月の 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコンアドバイザーに聞く	<p>目的 パソコン教室に通うほどではないけれど「パソコンのこの操作・この意味がわからない」という、ちょっとした疑問にパソコンアドバイザーが答えてくれる教室です。</p> <p>内容 パソコン講座の講師と受講生をボランティアとして活用します。</p>	1月、3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団塊の世代を応援エクセル活用講座	<p>目的 パソコンを仕事で使いこなしていた団塊の世代に、パソコンを自分の趣味や、自己管理のために使えるように導く講座。パソコンアドバイザーの養成講座としても発展させます。</p> <p>内容 健康管理グラフ・人生設計グラフ・大人の小遣い帳などを各自の目的に合わせて作ります。</p>	11月 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年賀状をパソコンで手早くきれいに作る	<p>目的 情報を得る手段としてのパソコンは近年、日常生活に必要不可欠になってきました。パソコンを習いたいが、まず自分が楽しめて実用性もある課題から入りたいというパソコン初心者のためのパソコン入門編です。</p> <p>内容 来年の干支を使い、パソコンでオリジナリティーあふれる年賀状を作ります。</p>	11月 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生のボイストレーニング	<p>目的 歌が好きだが歌えない少年少女にちょっとしたアドバイスで素敵な声を作り出そうという講座です。コーラスでの連帯感を体験し、コーラスの楽しさを味わい、趣味として続けていけるような仲間作りを目指します。</p> <p>内容 遊びを入れながら発声練習と簡単なコーラスが出来るように指導していきます。他グループとの交流を交えて、コーラスを永く続けられるきっかけを作ります。</p>	1～3月 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
触れてみよう・聞いてみよう・弾いてみよう	<p>目的 小学生を対象とした、楽器の体験講座です。子ども時代から音楽に親しみ趣味の領域を広げることも目的のひとつです。ふだん見たことも触ったこともなかった楽器になじみ、音を楽しみます。</p> <p>内容 和楽器・洋楽器に触れ、生演奏を聴き、実際に音を出すまでを考えています。</p>	8月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リトミックを始めよう	<p>目的 子育て世代を応援する講座です。親子であまり外に出る機会のない乳幼児と保護者を対象としています。リズムに合わせて踊り、親子で楽しいひと時を過ごすことが目的です。続けて参加することで、親子ともに仲間作りも出来ます。</p> <p>内容 ピアノに合わせてリズム体操を親子で楽しみます。お茶の時間もいれて、ホッとできる居心地の良い場所を作ります。</p>	9月～2月 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生親子工作教室	<p>目的 夏休み・冬休みに親子で動くおもちゃ作りに挑戦する講座。親子の触れ合える時間を作り、ものづくりの楽しさを味わう講座です。</p> <p>内容 太陽熱風車・風力発電機など、親子で相談しながら完成までの過程を楽しむ内容にしています。指導は、区民活動センターに登録されたボランティア人材バンクである、街のせんせいにお願ひし、毎回変化にとんだ作品を教えてください。</p>	8月、12月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生アート教室	<p>目的 小学生を対象とした、「絵を描くこと」を楽しむ講座です。絵に興味がない子にも絵が楽しいことを実感させ、趣味の領域を広げます。</p> <p>内容 実際にデッサンから彩色まで教わり、作品を完成させます。地区センターで活動中のサークルに協力を依頼する予定です。</p>	10～11月 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団塊の世代を応援男の料理教室	<p>目的 高齢者の二人暮らしが増え、男性の家事分担も必要になってきました。また、料理を趣味としたい男性も増えていきます。高齢者男性に料理の基本を覚えてもらい、家庭で活かしていただく講座です。自分で作ることで、料理の楽しさを味わいます。</p> <p>内容 料理を作ることがまったく初めてで、調理器具の使い方もわからないという方のために初歩から親切丁寧に指導します。</p>	10月 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医学講座	<p>目的 今どきの食生活と安全性について、薬とサプリメントについてなどをお医者さんに聞く講座です。近隣の病院の医師と、地区センターに来館する利用者と地区センターとのコミュニケーションを図り相互理解を進める講座です。</p> <p>内容 聞きたかったが、誰に聞けばよいかわからなかったこと、など素朴な疑問に答えます。</p>	5・8・11月 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
園芸に親しむ	<p>目的 花の性質、木の植え替え剪定など、実際にやってもわからないことばかりの質問に答える講座です。園芸を趣味にしたい団塊の世代に、園芸の初歩から指導します。</p> <p>内容 園芸家に季節ごとの花と樹木の管理について学びます。受講後は、花のボランティアとして活動できるように活動場所を考えます。</p>	6・8・10・ 12月 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初めてのボクササイズ	<p>目的 身体に負担をかけにくいボクササイズで身体作り（シェイプアップ）をする講座。地区センターに個人的にあまりご利用のない、20～40歳代の若い女性の参加を目指します。</p> <p>内容 勤め帰りの若い女性やヤングミセスの健康管理とストレス発散のためのボクササイズです。夜間の開催を考えています。</p>	5～11月 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者用の食事の作り方	<p>目的 高齢者が食べやすい食事のイロハについて実習を通して習う講座です。実際に介護をしている方に、献立のアドバイスをします。</p> <p>内容 管理栄養士による、高齢者の身体の状態や食材・味付け・形状・盛り付けなどについての講義と実習を予定しています。</p>	9月 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自転車・自動車の法規	<p>目的 高齢者の交通事故が増えています。高齢者や、自転車・自動車に乗らない方が安心して道を通るための法律について学びます。</p> <p>内容 警察官による、高齢者の事故の実態や自転車の乗り方、交通法規などについて学びます。</p>	10月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヨコハマ遊学校	<p>目的 知的好奇心にあふれた横浜の高齢者が地元ヨコハマをより知り、より豊かな知識人になるための手助けをする講座です。</p> <p>内容 横浜を愛する、「ヨコハマの会」に所属する講師陣が月替わりで講師を担当する、リレー式の講座です。ヨコハマの会との共催事業で、常連の参加者が会場設営や後片付けをボランティアで手伝ってくださり、暖かい雰囲気で行われます。</p>	4～3月 年9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
井戸端コンサート	<p>目的 野毛地区センターを永年使ってコーラスを研鑽してきた団体による、毎年恒例のコンサートです。ゲストのコーラス団体との競演により、各団体がコーラスの腕を磨く場にもなっています。</p> <p>内容 お客様は聴くだけでなく、実際に参加もできます。響きわたる大コーラスは、会場に一体感を生み、普段思い切り声を出す機会のない方々を心地よい気分にさせます。</p>	3月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
落語を習おう	<p>目的 小学生が落語に親しむ講座です。古典芸能である落語に親しみ日本文化に触れる機会を作ります。</p> <p>内容 「歌って落語もできる落語家」による実演と指導で、発表会も考えています。</p>	8～11月 全4回

単独団体名・共同事業体名	一般社団法人 中区民活動支援協会
施設名	横浜市野毛地区センター

平成23年度収支予算書(総括表)

1 収入の部

項 目	合計金額 (単位:千円)	備 考
利用料金収入 [A]	3,985	
自主事業収入 [B]	834	
雑入 [C]	485	
小 計 【ア】([A]~[C])	5,304	施設運営収入の計
指定管理料① [D]	31,781	【ウ】-【ア】
指定管理料②(ニーズ対応費分) [E]	1,329	[A]×1/3
小 計 【イ】([D]+[E])	33,110	指定管理料の計
収入合計([ア]+[イ])	38,414	

2 支出の部

項 目	合計金額 (単位:千円)	備 考
人件費 [a]	17,420	
事務費 [b]	1,696	
自主事業費 [c]	1,334	
管理費A(光熱水費等) [d]	2,450	
管理費B(保守管理費等) [e]	12,018	
公租公課 [f]	1,068	
事務経費 [g]	1,099	
小 計 【ウ】([a]~[g])	37,085	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費 [h](=[E])	1,329	[E]と同額になります。
小 計 【エ】([h])	1,329	ニーズ対応費の計
支出合計([ウ]+[エ])	38,414	

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	一般社団法人 中区民活動支援協会
施設名	横浜市野毛地区センター

平成23年度収支予算書

1 収入の部内訳(指定管理料除く)

(単位:千円)

項目	内容等	金額	
利用料金収入	最近の動向を加味し21年度収入実績の5%減 (4195×0.95)	ア	3,985
		イ	
		ウ	
		エ	
		オ	
		カ	
		キ	
		ク	
		ケ	
	小計		[A]
自主事業収入	参加費	コ	834
		サ	
		シ	
		ス	
		セ	
	小計		[B]
雑入	印刷代	ソ	211
	自動販売機手数料	タ	274
		チ	
		ツ	
		テ	
		ト	
	小計		[C]
小計【ア】	施設運営収入計		5,304 [A]~[C]

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	一般社団法人 中区民活動支援協会
施設名	横浜市野毛地区センター

平成23年度収支予算書

2 支出の部内訳(ニーズ対応費除く)

(単位:千円)

	項目	内容等	金額	
人件費	常勤職員	館長1名、主任2名、法定福利費	ア 11,527	
	時給スタッフ	スタッフ賃金	イ 5,893	
			ウ	
	小計		[a] 17,420	ア～ウ
事務費		旅費、消耗品費、印刷製本費、通信費、備品購入費	[b] 1,696	
自主事業費		自主事業費(講師謝金含む)	[c] 1,334	
管理費A	電気料金		エ	}
	ガス料金		オ	
	上下水道料金		カ	
	小計		[d] 2,450	エ～カ
管理費B	修繕費		キ 1,500	
	清掃	定期清掃(月1回)	ク 405	
	消防設備		ケ 0	
	機械警備		コ 0	
	空調設備	保守点検・冷暖房切替(年2回)	サ 900	
	エレベーター		シ 0	
	自動ドア	定期保守(年4回)	ス 34	
	電気保守管理点検		セ 0	
	非常用放送設備		ソ 0	
	害虫駆除		タ 0	
	植栽管理		チ 0	
	設備総合巡視点検		ツ 0	
	共益費		テ 9,179	
			ト	
			ナ	
		ニ		
小計		[e] 12,018	キ～ニ	
公租公課		[f] 1,068		
事務経費	(労務、経理、契約、職員研修など)	[g] 1,099		
小計【ウ】	施設管理運営経費計	37,085	[a]～[g]	

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。

(各内訳には課税取引分の消費税及び地方消費税額を含んだ金額を記載、公租公課欄には仕入税額控除後の見込額を計上)